



きみは愛されるために生まれた

9月13日(土)、本所地域プラザ BIG SHIP を会場にファミリー研修会が行われました。講師は、幼児クラスでゴスペルを通して英語活動を指導してくださっているジャンさん。ABCの歌に始まり、最後は「きみは愛されるため生まれた」というゴスペルソングをみんなで歌い、軽快なトークと素敵なおピアノの演奏に包まれた楽しい時間でした。ゴスペルソングは、昔アメリカで、文字の書けない奴隷たちが聖書のみ言葉を歌にして苦しい時にも神さまの愛と希望を伝承していく方法だったとのこと。「今日は、特に大人の皆さんも心を開放してリラックスしてほしい。『きみは愛されるため生まれた』これは、あなたに向けられたメッセージです」というジャンさんの言葉は、光の園保育学校の保育を通して、すべての方にお伝えしたいメッセージでもあります。このような機会を設けてくださった父母の会の皆様に感謝いたします。

さて、乳児の部ではつぼみ組のお友達も参加してドキドキした様子でしたが、音楽が聞こえ始めると顔を上げ音のする方を見て、保護者の方と一緒にリズムを楽しんでいました。幼児さんたちは、初めての場所でもすぐに慣れ、光る団扇を振って元気いっぱい。私たち大人もその場で簡単なフレーズを真似たり、ピアノの音色、ジャンさんの声や口の動き、子どもたちの歌声など様々な情報をキャッチしながら徐々に会場が一体となり、笑顔が広がっていきました。

大人になると経験から予測できることが増えますが、今回は子どもたちが新しいことに会った時、どのように刺激を受けて探求し、自分と周囲の世界の繋がりを感じていくのかを一緒に体験したように思います。乳幼児期に他者との関わりで得られる信頼感、自己肯定感などは生涯にわたり生きる力の土台になります。これからも、子どもたちの心が愛で満たされ、自分自身の気持ちが心地よく動き出すのを周囲の人たちと共に実感できる日々であるよう願っています。(園長 佐々木奈津絵)

～あなたの御言葉は、わたしの道の光、わたしの歩みを照らす灯。～ 詩篇 119 編 105 節



<10月の予定>

- 2日(木) 誕生会
- 18日(土) ファミリーデー
- 19日(日) ファミリーデー
予備日
- 24日(金) 一斉引き渡し訓練
- 30日(木) 全園児健診



日暮れが早くなりました。お迎え時、園前での滞在は出来るだけ短くし、すみやかに降園しましょう。



今月のやまびこはありませんでした

つぼみ組
(0歳児)

『なにしているの?』

9月より、12名になったつぼみ組。元気な声が毎日ひびいています♪保育者に甘えたい時もありますが、傍にいる友だちに興味を持ち始めAさんがハイハイランドに行けば、Bさんも近くに行き二人で見つめてニッコリ微笑み合うのです♡高月齢と低月齢の間に段ボールのトンネルがあるのですが、トンネル越しに「バー」と顔を覗かせたり、くぐって反対側にいる友だちやおもちゃでもあそぶようになりました。Cさんに絵本を読んでいるとDさんも一緒に見ることもあります。歌を歌えば、みんなで身体を揺らしマラカスを振って音楽隊にもなります♪タイトルの通り、子どもたちから「なにしているの?」と自然とつぶやきが聞こえるような気がして微笑ましいです。保育園という場所が、子どもたち一人一人にとって充実した場所になってきたようで嬉しく思います。今月もかわいいつぶやき風~をお伝えしますね!



もも組
(1歳児)

「色、いろ、色水、寒天」

やっと溶けるような暑さから落ち着ける日が多くなりましたね。もも組では子どもの成長もあり、色水あそびや寒天あそびなども楽しんでいます。クレヨンや絵の具で「色」をおぼえ始め、好きな色を選ぶという楽しみを知った子どもたち。寒天のひんやりした感触や、手の中で崩れていく感覚を味わいながら「黄色」などと言っていました。色水では食紅が溶けて水が一瞬で色付くを見て、タライの中に手を入れて混ぜたり、赤の水に青の水を入れると紫になるのを見て「え?」と不思議に思い自分でも混ぜてみたりしていましたよ。これからも子どもの好き・不思議など一緒に見つけていきたいです!

たんぽぽ組
(2歳児)

「あそびのリクエスト」

この暑い夏、お部屋では色々なあそびをしました。室内ランニングにジャンプ台、トラampolineにおままごと、粘土に水移しなど動くあそびからじっくりあそぶものまで。

そのおかげもあってか、子どもたちからあそびのリクエストをしてくれることが増え「今日も走りたい」「粘土やりたーい」等と伝えてくれています。

時々、食事前に三輪車やりたーいと言ったり、夕方にお散歩行く!と言ったり、それはちょっと難しい...と思うようなこともあって笑ってしまいます。けれどこれからこのリクエストがどんどん子どもたちのオリジナルのあそびに発展していくのだと思うと今からワクワクします。

すみれ組
(2歳児)

「わっしょい!」

先月行われた地域のお祭り以降、クラスでは「わっしょい!わっしょい!」という掛け声が響いています。お祭りのあった次の日は掛け声のみ。ところが2日目にはレゴブロックで作ったお神輿を数人で担いでいました。その作ったお神輿とは、レゴブロックの大きな板にたくさん動物を乗せたもの。これは、いつも子どもたちが作っていた動物園!☆お祭りを経験し、「わっしょい!わっしょい!」とお気に入りの物を担いで部屋中を歩き回る姿が可愛らしくて、ほっこりです♡

さくら組
(1歳児)

えほん だいすき

最近、今までよりもさらにじっくり集中して絵本を読む子どもたち。お気に入りの絵本を何度も何度も繰り返し読んでいます。(時に全員が絵本を読んでいる、なんて日もあります…!) 保育者の元へ「よんで」と持ってくることもあれば、1人でじっくりと読むことも楽しんでいます。内容もよく覚えていて、保育者が読むのと同時に、出てくる言葉を言ってみたり、絵本の中の絵を指差ししたりして楽しんでいます。

例えば、“おべんとうバス”という絵本を読むと…お弁当の具材ちゃんたちが順番に呼ばれていくのですが…「おにぎりちゃんたち～」と具材の名前を読むと、具材ちゃんたちが呼ばれるたびに子どもたちも「はい」と返事をしてくれてとってもかわいいです♡じっくりと読んで、理解して楽しんでいる姿にとっても成長を感じます♪
〈今子どもたちが好きな絵本を何冊かご紹介します〉



題：くらいくらい
文：はせがわ せつこ
絵：やぎゅう げんいちろう
〈福音館書店〉

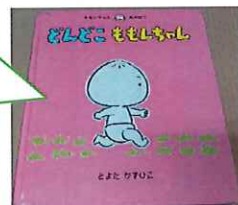


題：あばそこばーん
作：こべんなな
〈こどものとも〉



題：おべんとうバス
作・絵：真珠まりこ
〈(株)ひさかたチャイルド〉

ももんちゃんシリーズ
題：どんどこももんちゃん
作：とよた かずひこ
〈童心社〉





「バルーンやりたい！」

そんなAさんの声でバルーンをやってみました。バルーンは、このように→大きな円形の布を皆で動かしてあそびます。バルーンを持ち上下にバサバサ！と揺らすだけで「きゃー！」と喜びながら大笑い！バルーンには技がいくつかあり、上下に揺らすのは“たてなみ”という技の1つです。

そして、子どもたちが好きな技に（写真の技）“おうち”があります。バルーンを大きく膨らませ中に入ります。中に入ると外からは子どもたちの姿が見えなくなりますが、「うわあー！」と言いながら楽しんでる様子が、外から見ている保育者にも伝わってきます…！バルーンであそぶ中で、自分と同じように友だちも笑っている姿を見てさらに笑っていて、バルーンの楽しさを全力で感じている様子の子どもたちです。

そんなバルーン、ファミリーデーでもあそぼうと考えています！子どもたち・保護者の皆さんの楽しいひと時となればと思います。

ちゅうりっぷ流！お相撲の楽しみ方

9月下旬、毎日のようにお相撲をしてあそびました。自身の好きな名前を四股名にし、トーナメント形式で横綱を決めたり、何回も横綱になった子どもに1人ずつ挑んでいったりしてあそんでいます。また、「のこった！」と行司さんをすることも楽しんでいます。

お相撲のことに詳しいBさんは、保育者に「お相撲さんってこうやるんだよ！」と知っていることを話してくれました。その話を傍で他の子どもたちも聞いていたので皆にも教えてもらえるか聞いてみると、得意気に教えてくれました。Bさん曰く

「お相撲さんって、こうやって塩をやって（塩を撒く）、こうやって（四股を踏む）、こうやって（自分のお腹や顔を叩く）やるんだよ！」

とのこと。試しに教えてもらったことを皆でやってみると、Bさんはもちろんその場にいた全員（保育者含め）笑いが止まりませんでした。普段やらない動きであることや全員が同じ動きをしていることが“ツボ”にはまったのでした。お相撲を通して、友だちに自身の話したいことを伝える、友だちの話に耳を傾ける、一緒に面白い、といった経験に繋がりました。以来、Bさんに教えてもらったことを思い出すと、四股を踏んだりしてから勝負を始めています。

四股名を決める・行司をやってみる・お相撲さんがしていることをやってみる、勝負以外の楽しさも知った子どもたち。お相撲ブームはこれからも続きそうです！



ばら組
(4歳児)

これ、とっといてます！

ばら組の玩具棚の上に、子どもたちがブロックやパックスで作った数々の作品が個人マークと共に置かれています。これは光の園保育学校に代々伝わる『とっとく（とっておく）制度』で、この棚のことを『とっとく棚』と呼んでいます。せっかく作った作品をすぐには壊したくない子どもたちは、これまで、集まりでクラスの友だちの承認を得ながらとっておいてきました。保育者が、ロッカーの上に置いてあるだけでは誰のものかわからないよね？とか、毎日何人もの友だちが集まりで聞いていたら、時間がかかりすぎて、散歩の時間がなくなっちゃうんじゃない？などと、いく度となく投げかけても「これ、とっといてもいい〜？」「いいよ〜」のやり取りが続いていました。そんなある日、延長保育の時間に、ゆり組のお姉さんに「ゆり組さんはとっときたい時どうしているの？」と尋ねてくれた子どもがいました。それをさっそく集まりでみんなに伝えてもらい、めでたくとっとく制度が始まったというわけです。作ったものを大事そうに棚に置き、そーっと個人マークを添える子どもたち。そこでは、「〇〇ちゃんのかわいいね♡」「△△くんのこれ、どうやって作ったの？」などの会話も聞かれ、ちょっとした作品展のようにもなっています。作品が大きすぎてスペースがなくなったり、使いすぎて他の友だちのブロックが足りなくなったり、マークカードがなくなったりと、日々いろいろなことが起こりますが、保育者が整え過ぎないように、その都度子どもたちと一緒に考えてすすめていきたいと思っています。

ゆり組
(5歳児)

大盛況！水族館ごっこ 🐡

7月から準備していた水族館ごっこが9/11（木）に開催されました。長い準備期間でしたが、お盆休みに入る友だちがいる中、協力し合って進めることができました。前回のお店屋さんごっこの“商品売る”とはまた違い、来てくれたお客さんに“どうみせるのか、何をしてもらおうか”をグループ毎に話し合いを重ねてきました。迎えた当日…「看板を作っていなかったから作る！」「準備がまだなのにお客さんがきちゃった 🐡」とバタバタの中、ゆりぐみ水族館がオープン！クラゲの水槽を懐中電灯で照らしてキレイにみせたり、ペンギンになりきることのできる衣装があったり、レジャーパンダにエサやり体験ができたりと、6月にみんなで行った水族館からヒントを得て、自分たちで考え、工夫がなされた楽しい内容が盛りだくさんでした。また、小さなクラスの子どもたちの手を引いて案内をし、白イルカショーでは観客を前に堂々と司会をする姿は年長児らしいとても頼もしい姿でした。「椅子の数が足りない」「プレゼントのクラゲの数が足りない」等のアクシデントもありましたが、子どもたちでどうするかを提案、実行する姿にも成長を感じました。終了直後の振り返りの会では、「楽しかったけれど疲れた…」という声が多数でした(笑)終わった後の片付けまできちんとできていましたよ 🌟 ゆりぐみさん、お疲れさまでした ♪

先手必勝、きれいな歯！

歯のクリーニングや装具の作成など、虫歯治療以外の理由で歯医者さんに行く方はたくさんいらっしゃいます。子どもも同じように虫歯がなくても歯医者さんに連れて行ってあげてください。毎日歯磨きをしていても磨き残しは必ずあります。ごく初期の虫歯は黒ではなく白い（歯の色よりも白く透明感のない白色）ため、家庭で見つけるには限界があります。きれいな歯を保つためには歯医者さんでの点検とメンテナンスが定期的に必要なのです。

虫歯になってから行く歯医者さんは気が重いですが、虫歯がないときに行く歯医者さんは、痛くないし褒めてくれるところとイメージできるためお子さんが怖がることなく虫歯を予防できます。

虫歯は静かに進む病気です。症状がないうちの点検をお勧めします。



おしょくじ

10月は季節の変わり目で寒暖差があり、体調を崩しやすくなります。三食をきちんと食べてバランスよく栄養を摂りましょう。スポーツの秋ですから、たくさん体を動かし、秋のおいしい味覚をたくさん味わいたいものですね。

三食を決まった時間に きちんと摂りましょう

幼児の毎日の食事は、朝食3：昼食3：間食1：夕食3の割合が望ましいとされています。また、決まった時間に食べることで、体内リズムが整います。特に朝食をとると、寝ている間に下がった体温を高める働きがあり、1日を元気に過ごすことができますでしょう。

また、間食となるおやつは子どもの楽しみでもあります。100～200kcalを目安に、なるべく栄養になるものを用意できるとよいですね。



赤・黄・緑に分けて

バランスのよい食事を目指しましょう

三色食品群を参考に、1食につき各食品群から2種類以上選ぶようにして、1日で30品目を食べるように心がけましょう。

◆赤色群…主に主菜。たんぱく質（体をつくる）

⇒肉、魚、卵、牛乳、豆など

◆黄色群…主に主食。糖質・脂質（エネルギー源になる）

⇒米、いも類、パン類、油など

◆緑色群…主に副菜。ミネラル・ビタミン（体の調子を整える）

⇒野菜、果物、きのこ類など



☆♡★バザーのお知らせ☆♡★

今年も恒例の記念館バザーが開催されます。ぜひ、皆さんご参加ください。

日にち：11月3日（月・祝）

会場：本所賀川記念館（光の園保育学校）

時間：10:30～13:30

☆金券前売り申し込み期間は10月23日（木）～10月30日（木）です。

☆献品の受け取り期間は10月15日（水）～10月30日（木）です

おひさま文庫 から

今月は光の園の保育者の おすすめの一冊を紹介します。



はっばのついたりんごの本は おひさま文庫にある本です。

おひさま文庫にない本もそのうち仲間に加わるかもしれません。おたのしみに💕



題名 フンクせんせい
どうぶつえんじく

作者・絵 たかどの まりこ

出版 フレーベル館

♡コメント

つんつくせんせい(は)シリーズど色々あり
ます。4、5才児クラスくらいのお子さんに
おススメ!! T-カドの(ま)さんの作品は
どれもユーモアにあふれ世界観が
サイコーです!! 味わってほしいな
なまえ 有当矢口江



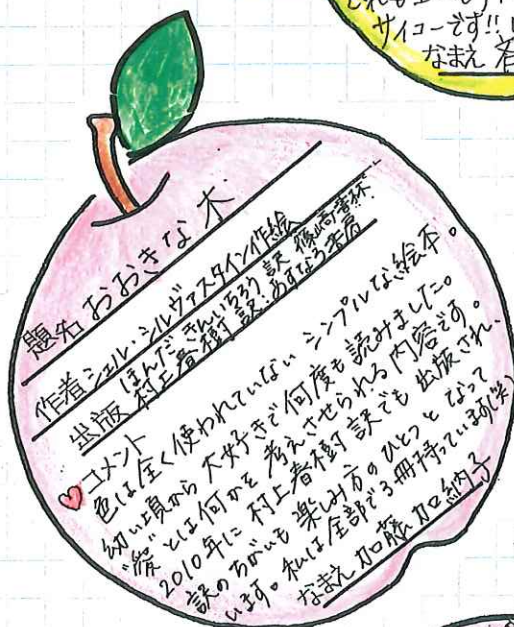
題名 めっけもっけさんぽんぽん

題名めきり

三着

出品
コメント
各店舗

題名 おたからちゃん
 作者 長谷川裕見子
 出版 福音館書店
 ♡コメント
 図書館に行くときよく借りてた一冊です。
 今読書会では、題名の不思議さから一気に
 大好きになりました。おたからちゃんが
 大好きになりまして。おたからちゃん
 に渡す海が見える水晶玉、今注
 意！ ぐぐぐー!! おススメの絵本です！
 なまね 大原 佳子



題名 おおきな木
イラストレーター 鈴木
文庫 鈴木 文庫 鈴木 文庫

作着江 はん
版 科正

コナント

カル・シルヴァン作
ほんたに子供に読ませるべき本
利上者向け読者は老若
男女
色は全く使われていない シンプルな絵本。
幼い頃から大好きで何度も読みまじい。
"とは何ぞ" 考へさせられる内容だ。
2010年に利上者向け読者でも出版され
た。私には全部3冊揃った。
1冊。私には全部3冊揃った。
なまじい藤野の絵本



題名
 やみせ
 ヤミセ
 ヤミセ
 朝日
 ル

作者

出版

新南社
 せいかし
 日厚といつて
 ハンと夢物語ではあつて
 作者の意図は悲し
 作看の意図は悲し
 読むと思ひ
 読むと思ひ



題名 私はこの女を愛した。
よこたたいすけ
つちや書店

作者

出版

出版

♡コメント
強面のお父さんが、娘が平和な黒猫と家族になる物語。「お父さんが好き」というお父さんでずいぶん感動作です！
なまにくにまた あんな

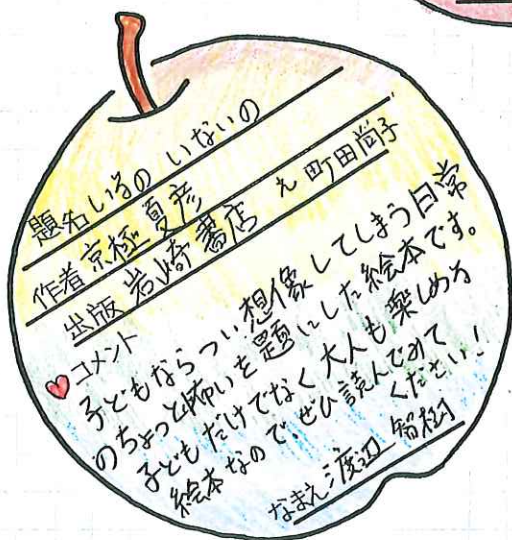
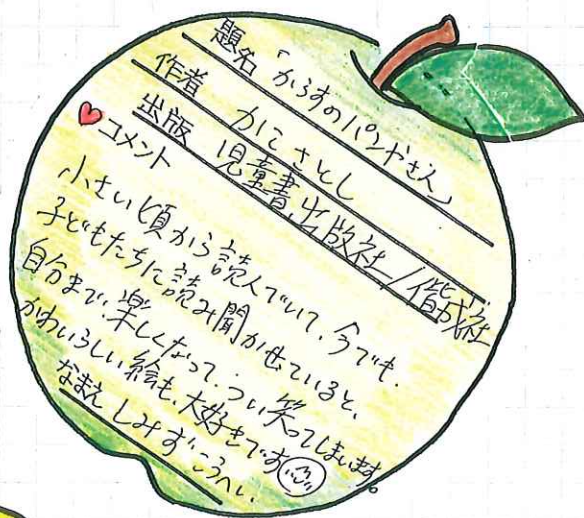
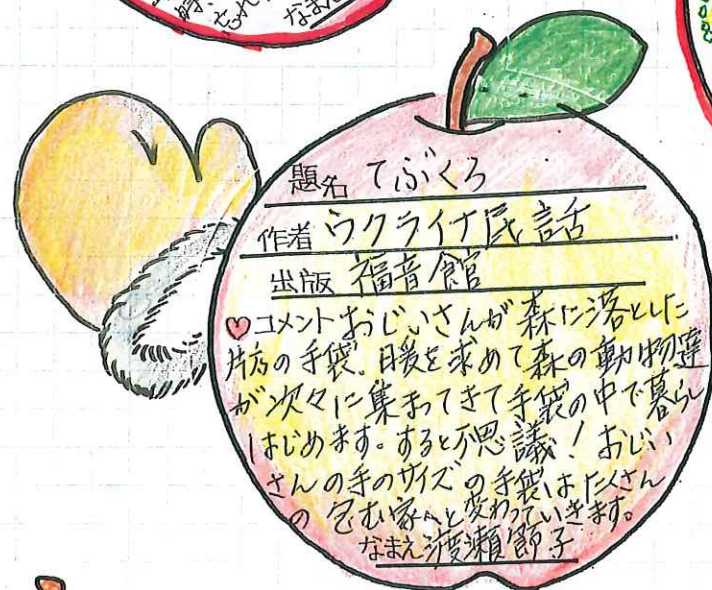
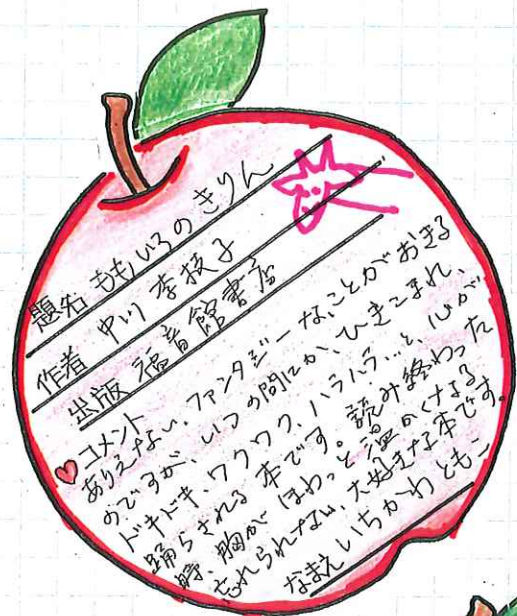


題名 じごくのそうめん
田島作
社

題名 國語

着

出版
コメント
雑誌の表紙のイン
少年団時代 よく図書館
読んでいた。懐いその不思議
か好きな人には売れな
なま びつた





10月

0歳児 つぼみ組

- ・散歩や戸外あそびで秋の自然に触れあそぶ。

1歳児 もも組・さくら組

- ・園庭や園外に出て秋を感じる。

2歳児 たんぽぽ組・すみれ組

- ・戸外で思いきり身体を動かして友だちと一緒に楽しむ。

3歳児 ちゅうりっぷ組

- ・友だちと一緒に身体を動かすあそびを楽しむ。

4歳児 ばら組

- ・ルールのあるあそびや運動あそびを楽しむなかで、友だちに思いを伝えつなかりを広げていく。
- ・身近な秋の自然に触れてあそび、興味を深める。

5歳児 ゆり組

- ・身体を動かすことを楽しむ。
- ・秋の自然に興味関心を深め、収穫する楽しさを味わう。
- ・友だちと考えを出し合い工夫しながら自分の力を発揮していく。